



総会で会員らを前にあいさつする井上宏会長＝浜松市の静岡文化芸術大

笑いの効能 幅広く追求

浜松で学会 研究成果など発表

浜松市中区の静岡文化

芸術大で七日、笑いを通

・井上宏関西大名誉教

授)の第十四回総会・研究発表会が始まった。県内初の開催で、大学教授や医療関係者ら会員約百人が参加した。八日まで。

一九九四年に関西大で発足した同学会は、浜松を含め全国に十八の支部を持つ。会員は国内に約千人ほどいて、さまざまな学術的見地から笑いの奥深さについて理解を深めている。

井上会長は会員らの前で「笑いと健康の関係が注目されつつある。それぞれの専門性を生かして研究を進めていってま

い」とあいさつ。この日

は会員約十人が医学的な考察や文学からみた笑いに関する研究などを発表し、アトピー性皮膚炎による不眠を笑いで治すなどユニークな研究も紹介された。

八日は午後二時十五分から同大で、「高齢社会と笑い」をテーマにシンポジウムが開かれる。